

鷺沼・宮崎エリア

大山街道コース 約5.8km

2.8km 1.1km 1.9km

- 梶が谷駅
- 宮前平駅
- 鷺沼交差点
- うとう坂下

コース区間距離

東海道の裏街道の歴史を偲(しの)ぶ

大山街道は矢倉沢往還ともよばれ大山登拝後の富士山、富士登拝後の大山詣でも利用されていた。矢倉沢往還は江戸へ物資を運ぶ役割を果たしており、駿河の茶・綿、伊豆のワサビ・シイタケ・干し魚、桑野からは煙草、厚木からは相模川の鮎などを江戸に運んでいた。

土壌の八幡坂は急傾斜のうえ湧(わ)き水があり、手車の往來に難儀した。しばしば土砂崩れを起し、交通ルートを変更している。都市開発で坂は消滅し、その東側40mほどの場所に新道が作られている。坂の名前は、昔にある八幡神社に由来する。

坂の上になるほど急傾斜で道幅が狭かった。坂の半ばにある土手からは湧水が湧(わ)き出し、旅人の喉を潤していた。坂の壁には「下の店」があり、茶・地酒・菓料(わらじ)などを売っていた。その壁には華西園毛織三十三ヶ所競馬場跡26番札所もあった。明治時代中期に長雨のため坂が崩れ道行が困難になったため、高山から日国道246号を利用して宮崎に迂(う)回していた。高山からは、秋から冬にかけて晴天の日に品川の海や多摩川の帆掛け舟が見望できたという。

元禄元年(1689)の地震で、阿弥陀仏がある。地震で亡くなった幼児の供養と病氣回復を祈って建てられた。

牛久保のうとう坂は急坂で知られている。以前、両側には榎木や竹が茂る里山が広がっていた。坂の西方から大山・丹沢・富士山を好景望できたが、近年、新築住宅が立ち並び景観を損ねている。坂の頂上近くには榎木農家の菅川屋があるが、以前、大山街道の休憩所である「立場」を開いていた。坂の下方は血汗坂の指定地の一つであり「新編武蔵風土記稿」では旅人の宿場施設を記しているが、実際には関東ローム産から湧(わ)き出した茶色の濁(にご)り水が作った茶色の濁き水である。

有馬の八幡坂は急傾斜のうえ土手から湧(わ)き水があり、手車の通行に難儀し批評しを付けた。坂の中心には馬の医者である伯耆や聖床。坂の壁には菓子・茶・菓料(わらじ)を売る「出店」があり、季節には菓子屋も店を開いた。また坂の中心からは、鎌倉街道の支線が土壌を経由して形影(たすがた)山に向っていた。天保2(1831)年、東叡山は大山街道を厚木まで歩いているが、途中、「出店」に立ち寄り夜田宿までの道程を尋ねていた。その時、里山には有馬の馬を飼っていたが、そのスケッチは「岩相日記」に記されている。坂の名前の由来になった八幡前は「福村」と言う屋号の駒田家に移されている。

昭和16(1940)年陸軍東部82部隊の捕虜に伴い、32軒の農家と庚申堂は現在の宮前休日急急野原付近に移転。大山街道の最時には、相模川の船も夜通し走り江戸まで運ぶ「船掛ぎ」の人足が、早朝、庚申堂で車輪(わらじ)を履き替えお湯(ぬ)り洗いをあけ湯口の湯屋に向っていた。三又は「馬絹の杖巻」で知られた「むら」を使い、梅・桜など早咲きの花木を育てるようになった。

6世紀頃に築造された円墳と言いますが、未調査のため詳細は不明。武蔵の隠し場所、抱見塚、鎌倉街道の一里塚など説がある。大山街道が盛んに使われた時代には住まざる人びとの目撃になった。玉澤寺道の起点になっている。



宮崎大塚



牛久保の大山街道

宮前区の大森街道 豆知識

宮前区内の大森街道は、昭和30年代以降に始まった大規模な都市開発のため多くの区間が消滅した。宮崎大塚から庚申坂上、小台坂から鷺沼、有馬の八幡坂にルートが残されている。しかし、道路は拡張され坂は緩やかに改良されているため、ガイドブック無しには歩くことが難しい。それでも馬絹の三又や有馬は詳細に観察すれば民家が建てられた向きから、在りし日の大山街道を偲(しの)ぶことができる。宮前区は多摩丘陵に位置するため、庚申坂・札野坂・土壌の八幡坂・小台坂・有馬の八幡坂が連続し、いずれも開発前は急傾斜であり、大山街道の難路であった。

矢倉沢往還

矢倉沢往還の大山街道は、30以上ある大山街道を代表する道である。起点の幸坂門から大山まで70数kmの道程であった。然(た)る(ら)し、用資を経たあと子溝口・窪田・長津田・下鶴岡・厚木などの宿場を通り大山に達していた。途中、多摩川は二子の渡しで、相模川は厚木の渡しで渡っていた。江戸から大山までは通常2泊3日の行程であった。大山には高(たか)い・豊作・豊満・奇秀・奇麗・航海安全・家内安全などを祈願した。盛時には福島の餅屋、新潟県の魚屋、長野県の佐久・飯本地方、山梨県、静岡県、伊豆諸島から参詣者が訪れた。

矢倉沢往還は、慶長6(1601)年に徳川家康が整備した東海道の脇街道である。東海道は大名・武士が多く使い、表街道的な存在であったが、矢倉沢往還は農民・商人が多く通行する道であり、裏街道的な存在であった。しかし、駿河の茶・綿、伊豆のワサビ・干し魚、桑野の煙草・相模川の鮎などの物資を江戸に供給する重要な役割を果たす生活道路であった。



東京都のまちづくり 公園 自然 神社・仏閣 まちのスポット お散歩コース 索引

東京都のまちづくり 公園 自然 神社・仏閣 まちのスポット お散歩コース 索引